

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 22-48
補助事業名 平成22年度 地域の技術・産業振興補助事業
補助事業者名 (公財)ちゅうごく産業創造センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

技術シーズを事業化へ繋げる研究会、ネットワークを活用し新事業創生に繋げる研究交流会、研究終了後のフォローアップ・事業化促進のためのマッチング交流会・事業化推進委員会、産業活性化に繋げる人材育成としてのシンポジウム、機械工業分野における地域全体の能力を結集して地域ニーズに応える方策を提言する調査事業を実施し、地域経済の発展と機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

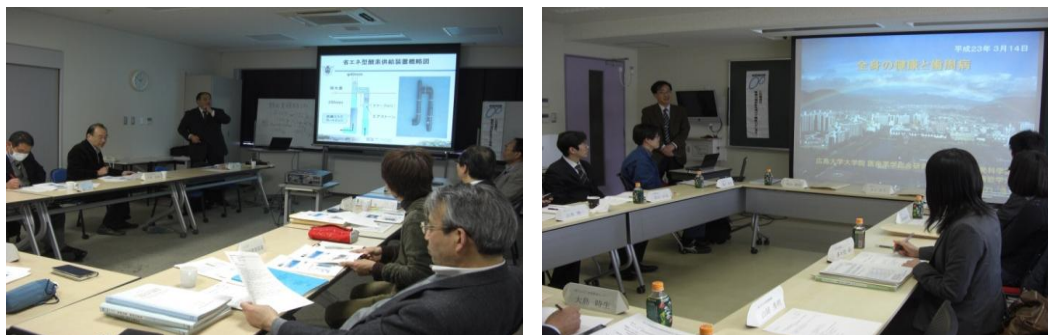
前記目的のため、次の4つの事業を実施した。

①技術シーズの発掘・育成

a. 産学官連携新産業創出研究会

<http://ciicz.jp/sinsangyo/ke/h22.html>

大学等の研究シーズに基づき、大学、公設試験研究機関、企業等で構成する産学官連携新産業創出研究会を15テーマ選定して、各テーマ3回/年の研究会を開催した。



(産学官連携新産業創出研究会開催風景)

b. 産学官研究交流会 <http://ciicz.jp/kenkyu/nen/h22.html>

医療福祉機器研究交流会(2回)、機能的食品研究交流会、植物工場研究交流会(各1回)の計4回、研究交流会を実施し、大学の研究シーズと中国地域の企業とのマッチングを図った。



(産学官研究交流会開催風景)

②技術開発成果事業化支援 <http://ciicz.jp/business/pdf/230119.pdf>

a. 産学官連携ビジネスマッチング交流会

平成23年1月19日 産学官連携ビジネスマッチング交流会を開催した。79名(うち金融機関15名)の参加者を迎え、新産業創出研究会や地域イノベーション創出研究開発事業等の国の研究開発プロジェクトを終了したものの中から、事業化に至ったものあるいは事業化に近いテーマ6件の発表および開発製品等の展示を行うことにより、発表者と企業・金融機関とのマッチングを図った。

また、今回初めて展示会場にて発表者との個別相談会を実施し、好評を得ることが出来た。



(産学官連携ビジネスマッチング交流会開催風景)

b. 研究開発成果事業化推進委員会

これまでに終了した地域新生コンソーシアム研究開発事業等の経済産業省受託事業のうち補完研究を実施している7プロジェクトについて推進委員会を開催し、研究開発実施状況、事業化に向けた取り組み状況をフォローし、今後のプロジェクトの進め方について協議した。



(研究開発成果事業化推進委員会開催風景)

③人材育成・啓発

<http://ciicz.jp/sangyokouen/pdf/220908.pdf>

・イノベーションシンポジウム「水資源の創造と水ビジネスの可能性」

平成22年 9月 8日 開催

「水資源の創造と水ビジネスの可能性」と題して講演会を行なった。当日は164名が参加し盛況であった。



(イノベーションシンポジウム開催風景)

④地域産業創出等支援

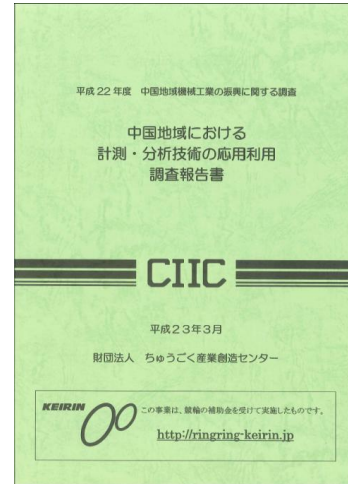
http://ciicz.jp/jitensya/pdf/tyosa/h22_tyosa.pdf

・中国地域における計測・分析技術の応用利用についての調査

「計測・分析技術」を調査テーマに、企業・大学・高専・公設試験研究機関・計測分析業者へのアンケート、企業・大学・公設試験研究機関へのヒヤリングなどを実施し、①新しい計測・分析技術開発への提言、②計測・分析技術を担う人材育成への提言を行った。



(成果発表会風景)



(調査報告書)

2 予想される事業実施効果

①技術シーズの発掘・育成

a. 産学官連携新産業創出研究会

新産業創出研究会により、研究課題のブラッシュアップを図り、次ステップへ発展させる活動を行なった。その結果15テーマのうち、2テーマは企業による商品開発を進める段階まで進み、10テーマについては独立行政法人科学技術振興機構（JST）の研究資金獲得に応募する見込みである。

b. 産学官研究交流会

参加者は延べ366名の実績となり、シーズとニーズの出会いの場、地域産業の基盤知識の共有の場として貴重な機会を提供した。参加企業は潜在ニーズを基に、当産学官研究交流会で得られたシーズ情報と、基盤となる知識をもとに、意欲を持った地域集団として事業成功へ向け、検討を継続発展させることが期待できる。

②技術開発成果事業化支援

a. 産学官連携ビジネスマッチング交流会

個別相談会で参加者からの相談・問合せが4件あり、発表者に対応していただいた。また、交流会終了後、開催結果を当センターのホームページに公開するなど、今回発表してもらった研究成果の普及を図った。このような中から発表者と企業・金融機関とのマッチングが図られ、新たな事業への進出等のビジネスチャンス拡大が期待できる。

b. 研究開発成果事業化推進委員会

これまでに終了した地域新生コンソーシアム研究開発事業等の経済産業省受託事業の

補完研究実施状況、事業化に向けた取り組み状況をフォローし、今後のプロジェクトの進め方を協議することにより、今後の事業化推進、技術水準の向上、新事業創出等への期待ができた。事業化課題等に対して参加機関等で協力して取り組んでおり、事業化を実現したものがある。

③人材育成・啓発

講演後のアンケートでは83%の方から「役に立つ」との回答があり、「水ビジネスの可能性の大きが見えた」「世界の水ニーズがよくわかった。」等の具体的な感想をいただき、関心を持つ企業の今後のビジネスの参考となった。

また、当日の講演内容をとりまとめた報告書を250部作成し、行政、公設試験研究機関、産業振興団体、企業等に広く配布し、当事業の普及・広報に努めた。

④地域産業創出等支援

調査報告書を368宛先に配布したが、この報告書には計測・分析に悩むエンジニアや研究者が解決のヒントを得られる工夫がしてあり、この報告書の活用により、中国地域の種々の研究開発が進展するものと期待している。

H23年度の事業として、以下の調査フォローアップ事業を実施中であり、このような活動を通じて国プロ等に応募が出来るプロジェクトの育成が期待できる。

- 課題を持つ企業と研究者をメンバーとする「質感計測・分析研究会」・「色感計測・分析研究会」の実施。
- コーディネータによる企業ニーズと研究者シーズ10件のマッチング活動

3 本事業により作成した印刷物等

中国地域における計測・分析技術の応用利用調査報告書

(http://ciicz.jp/jitensya/pdf/tyosa/h22_tyosa.pdf)

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：公益財団法人ちゅうごく産業創造センター（コウエキザイダンホウジンチュウ
ゴクサンギョウソウゾウセンター）

住所：730-0041

広島県広島市中区小町4番33号 中電ビル2号館

代表者名：会長 松井 三生（マツイ ミツオ）

担当部署：産業部

担当者名：産業部部長 渋下 信明（シブシタ ノブアキ）

電話番号：082-241-9910

F A X：082-240-2189

U R L：<http://ciicz.jp/>